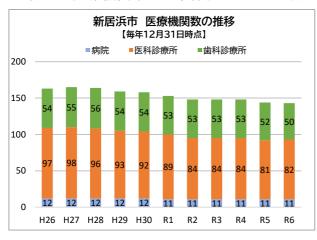
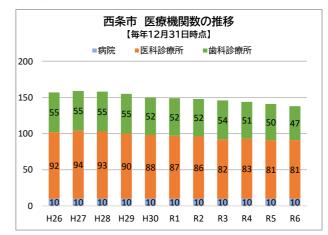
# 管内の外来医療・在宅医療の状況について

(新居浜・西条圏域)

来年度からかかりつけ医機能の確保に関する協議を開始するにあたり、保健所において厚生労働省及び 愛媛県が公開・保有している外来医療・在宅医療に関するデータを収集・図表化した。

# 1. 管内の医療機関数 (西条保健所における許可/届出状況)





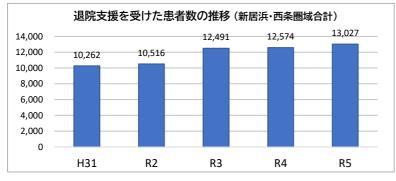
## 《概況》

両市とも医科診療所・歯科診療所の数は漸減しており、近年の新規開業数も数年に1件程度と少ない。

## 2. 退院支援の状況(退院調整部門の設置状況、退院支援を受けた患者数)



≪出典≫ 令和6年度病床機能報告 ※精神科単科病院は報告対象外

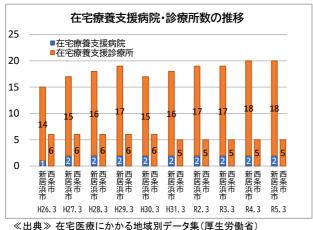


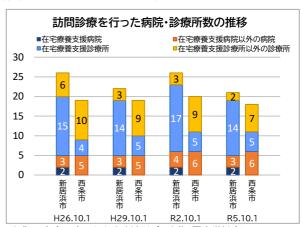
≪出典≫ NDBオープンデータ(厚生労働省)

#### 《概況》

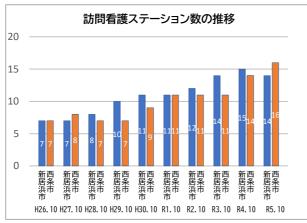
新居浜市・西条市とも、大規模・中規模の病院では、退院調整部門が設置されている。 管内の有床診療所では、退院調整部門を設置している施設はない。 なお、退院支援を受けた患者数は増加傾向にある。

# 3. 日常の療養支援の状況(訪問診療を行う施設数、訪問診療を受けた患者数等)

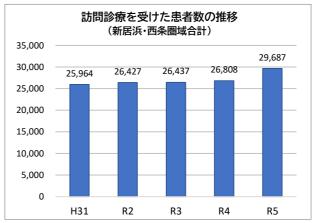




≪出典≫ 在宅医療にかかる地域別データ集(厚生労働省)



≪出典≫ 在宅医療にかかる地域別データ集(厚生労働省)



≪出典≫ NDBオープンデータ(厚生労働省)

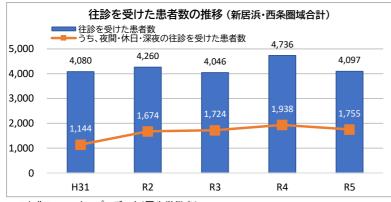
## 《概況》

新居浜市では、訪問診療を行う医療機関の大半が在宅療養支援病院・診療所の届出を行っている。

一方、西条市では、在宅療養支援病院・診療所の届出をしていない病院・診療所で、訪問診療に対応して いるケースが多い。

管内で訪問診療を受けた患者数は増加傾向にある。

# 4. 急変時の対応状況(往診を受けた患者数)

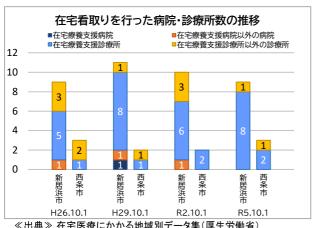


≪出典≫ NDBオープンデータ(厚生労働省)

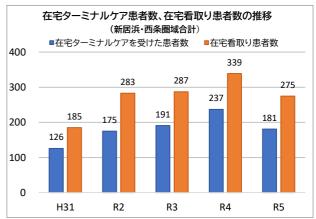
#### 《概況》

往診を受けた患者数は、この5年間でほぼ横ばいである。

## 5. 在宅看取りの状況(看取りを行う医療機関数、看取り患者数等)



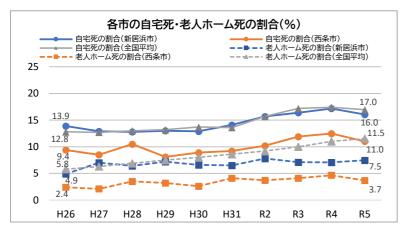


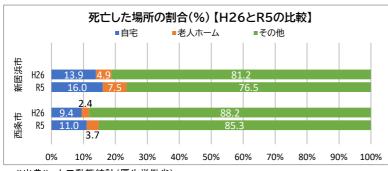


≪出典≫ NDBオープンデータ(厚生労働省)

両市を比較すると、新居浜市の方が在宅看取りに対応している病院・診療所が多い。 在宅看取り患者数は、新居浜・西条圏域の合計数であるが概ね増加傾向にある。

# 6. 自宅死・老人ホーム死の割合





≪出典≫ 人口動態統計(厚生労働省)

※「自宅」には、グループホーム、サービス付き高齢者住宅を含む。 「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームを指す。

#### 《概況》

両市とも、H26と比べると自宅死・老人ホーム死の割合が増加している。

新居浜市は、自宅死の割合が全国平均とほぼ同じであり、老人ホーム死の割合は全国平均よりも低い。 西条市は、自宅死・老人ホーム死ともに全国平均より低い。

# 外来医療・在宅医療に関する管内2市の取組状況等 【R7.6 聞き取り】

項目	新居浜市	西条市
(1) 外来医療・在宅医療の推進に関す	①在宅医療・介護連携推進協議会 (年1回開催)	①在宅医療・介護連携推進協議会 (年1回開催)
る既存の会議体(開催状況)	※委員 (15名): 医師会・歯科医師会・薬剤師会・リハビリテー	※委員 (13名) : 医師会・歯科医師会・薬剤師会・リハビリテー
	ション専門職協会・介護関係者・行政関係者等で構成	ション専門職協会・医療SW・介護関係者・行政関係者等で構成
	②在宅医療・介護連携推進事業作業部会 (年6回開催)	②在宅医療・介護連携推進事業運営委員会 (年6回、奇数月開催)
	※構成員はその年のテーマにより選出。	※運営委員 (28名): 医師・薬剤師・看護師・保健師・介護支援専
	(R7年度は「在宅医療介護あんしんまるわかりフェア」を企画)	門員・社会福祉士等で構成(R7年5月末時点)
	③在宅医療・介護連携推進事業係会 (年12回開催)	③西条市地域医療の在り方検討会議 (R6~R7)
		※R6は救急医療、医師確保及び市が有する医療資源を中心に協議
		を実施。R7は年4回開催予定。
(2) 在宅医療・介護連携の実施状況	・新居浜市医師会に「新居浜市在宅医療・介護連携担当協力機関」	①在宅医療・介護連携推進講演会の開催 (年1回実施)
	(医療ブランチ)を設置し、専門職からの相談に対応。	※コーディネーターによる西条市の在宅医療・介護連携体制の紹
	・住民向けの事業として、R6年度はイオンモール新居浜で「在宅医	介・実績報告と、外部講師による講演を実施
	療・介護あんしんまるわかりフェア」を実施。各専門職の団体(10団	②在宅医療・介護連携症例検討会の開催 (年6回、奇数月開催)
	体)、行政(3課)に協力をしてもらいながら、フェアを開催。	※市内の症例検討及び症例数の報告を実施
	・R7年度は、「在宅緩和ケア推進モデル事業」を開始。運営委員会を	(がんの看取りに係る症例検討)
	設置し、症例検討会などを定期的に行いながら、在宅医療・介護に必	
	要な体制整備を行っていく。	
(3) 在宅医療・介護連携推進コーディ	○設置あり(3名:医師会に設置)	○在宅緩和ケアコーディネーター6名に協力をお願いしている。
ネーターの配置状況	○職種:看護師、ケアマネ、医療福祉士(複数回答)	〇職種:保健師、看護師、臨床心理士(複数回答)
   (4) 外来医療・在宅医療に関する協議	· 新居浜市医師会	· 西条市医師会
を進めていく際のキーパーソン		・西条市歯科医師会、東予周桑歯科医師会、県薬剤師会西条支部、県
		リハビリテーション専門職協会、介護事業所及び訪問看護事業所の各
	員連絡協議会、新居浜市訪問介護事業所職員連絡会、訪問看護事業所	
	の各団体代表者(在宅医療・介護連携推進協議会委員)	